

令和5年度 理科 <第1学年> 年間指導計画と評価規準

理科 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

理科 第1学年の目標

- (1) 日常生活で見られる身のまわりの生物、物質のすがた、身近な物理現象、大地の変化に関する事物・事象に着目しながら理解を深めるとともに、これらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- (2) 身のまわりの生物、物質のすがた、身近な物理現象、大地の変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、これらにおける規則性を見だして表現する。
- (3) 身のまわりの生物、物質のすがた、身近な物理現象、大地の変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

第1学年年間指導計画（評価規準）

★ **知**は、知識・技能 **思**は、思考・判断・表現 **主**は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	3 身近な物理現象 <25時間>	1 光の性質 2 音の性質 3 力のはたらき	知 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート
5			思 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見だして表現している。	
6			主 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
7	1 生物の世界 <25時間>	1 身近な生物の観察 2 植物のなかま 3 動物のなかま	知 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート ハフォーモテスト (顕微鏡)
9			思 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見だすとともに、生物を分類するための観点や基準を見だして表現している。	
10			主 いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
11	2 物質のすがた <25時間>	1 いろいろな物質 2 気体の発生と性質 3 物質の状態変化	知 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト

12		4 水溶液	<input type="checkbox"/> 思 身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見だして表現している。	探究レポート パフォーマンステスト (ガスバーナー)
			<input type="checkbox"/> 主 身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
1	4 大地の変化 <26時間>	1 火山 2 地震 3 地層 4 大地の変動	<input type="checkbox"/> 知 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート
2			<input type="checkbox"/> 思 大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見だして表現している。	
3			<input type="checkbox"/> 主 大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

余剰時間4時間は、理科の探求活動等にあてる。